

『 森林科学 』 シラバス

科目名	学科	学年	必修/選択	単位数
森林科学	農業科	3年	選択	3単位

1. 科目目標と使用教材

科目目標	森林が人間の生活、自然環境の維持にどのように役立っているかを学び、森林を木材生産分野、環境保全分野、保健休養分野などで人間の生活に役立てる能力と態度を育てましょう。
使用教材	教科書：高等学校用 森林科学（文部科学省）

2. 学習計画

学期	学習項目	学習目標
1 学 期	森林の総合的利用 (1) 森林のもつ多面的な機能の再確認	森林には木材生産のみでなく国土保全など様々な機能があります。これらの機能が人間の生活とどのように関わっているかを理解しましょう。
	(2) 木材の様々な利用	炭の効用やキノコ原木としての利用方法を体験的に理解しましょう。
2 学 期	(3) 複数の機能を発揮させる方法	同じ林地で樹齢の異なる森林を育てたり、針葉樹と広葉樹の混ざった森林を育てたりする意義と技術を理解しましょう。また、森林の林床で作物を育てる技術を体験的に理解しましょう。
3 学 期	(4) 持続可能な森林経営	木材はもちろん、森林に棲む生物たち、自然環境などの森林資源を現在から未来へどのような形で残していけばよいのかを様々な事例を見ながら、考えていく力を養いましょう。

3. 学習方法

農場で知識の裏付けができるように、週3時間のうち1時間を教室での授業、2時間を体験や実技で行います。服装は実習着で行います。授業で学んだことは寮の学習時間にレポートにまとめて提出して下さい。

4. 評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・森林と人間の関わりについて関心を持っているか。 ・森林の現状を改善しようとする意欲があるか。 ・授業課題に意欲的に取り組んでいるか。
思考・判断	・森林の多様な機能と人間との関わりを理解できているか。
技能・表現	・授業で行う栽培実験や観察の内容を的確にレポートにまとめているか。
知識・理解	・森林の機能、森林を取り巻く環境因子などの用語や仕組みなど基本的な知識を身につけているか。

5. 成績評価

1・2学期	中間	<table border="1"> <tr> <td>定期考査 (素点)</td> <td colspan="4">平 常 点</td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> </table>	定期考査 (素点)	平 常 点				100%	%	%	%	%					
	定期考査 (素点)	平 常 点															
100%	%	%	%	%													
	期末	<table border="1"> <tr> <td>定期考査 (素点)</td> <td colspan="4">平 常 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>レポート</td> <td>授業態度</td> <td>提出物</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>30%</td> <td>10%</td> <td>10%</td> <td>%</td> </tr> </table>	定期考査 (素点)	平 常 点					レポート	授業態度	提出物		50%	30%	10%	10%	%
定期考査 (素点)	平 常 点																
	レポート	授業態度	提出物														
50%	30%	10%	10%	%													
3学期	学年末	<table border="1"> <tr> <td>定期考査 (素点)</td> <td colspan="4">平 常 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>レポート</td> <td>授業態度</td> <td>提出物</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>30%</td> <td>10%</td> <td>10%</td> <td>%</td> </tr> </table>	定期考査 (素点)	平 常 点					レポート	授業態度	提出物		50%	30%	10%	10%	%
定期考査 (素点)	平 常 点																
	レポート	授業態度	提出物														
50%	30%	10%	10%	%													

6. 生徒の皆さんへ

この科目を受ける生徒は2年次の「森林科学」や「総合実習」ですすでに森林に関する基礎的な知識や技術は学んでいます。この授業ではさらに踏み込んで、森林の持つ様々な働きを体験的に学びます。将来、林業の後継者となる人には自分たちの仕事がいかに人々や自然環境のために役立っているのかを知ってもらい、誇りを持った林業家となって卒業してほしいと思います。また、林業以外の職業に就く人たちには、森林が存在する意義や役割を正しく理解し、林業家の応援団となる市民となって卒業していくことを期待しています。